

各関係機関長 様

高知県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報について

病虫害発生予察注意報第3号を送付します。

平成 30 年度病虫害発生予察注意報第3号

平成 30 年 10 月 5 日
高知県病虫害防除所長

病虫害名 ハスモンヨトウ

- 1 対象作物 露地野菜、施設野菜、花き類など
- 2 発生地域 県東部、中央部、中西部、(西部を除く)
- 3 発生時期 10 月上旬以降
- 4 発生程度 多
- 5 注意報発令の根拠
 - (1) フェロモントラップによる雄成虫の誘殺数は、夏以降、県西部を除き平年に比べやや多～多めで推移しており、特に県東部、中央部では9月下旬以降、急激に誘殺数が増加している(図1)。
 - (2) 南国市廿枝のサトイモほ場におけるハスモンヨトウ産卵数調査では、7月下旬以降、平年の2倍程度と多く推移している(図2)。
 - (3) 向こう一ヶ月の気象予報では、気温は平年よりも高め、日照時間は平年並と予想されており、今後も密度の上昇が予想される。
- 6 防除対策
 - (1) 老齢幼虫になると薬剤感受性が低下するので、若齢幼虫期に薬剤散布を行う。
 - (2) 1回の薬剤散布で効果が十分でない時は5～7日間隔で数回散布するが、同一成分を含む薬剤の連用を避ける。
 - (3) 施設栽培ではハウスサイド、天窓に防虫ネット被覆を行うなど成虫の侵入防止に努める。
 - (4) 防除に当たっては、農薬使用基準を遵守するとともに周辺農作物等への飛散防止対策を徹底する。

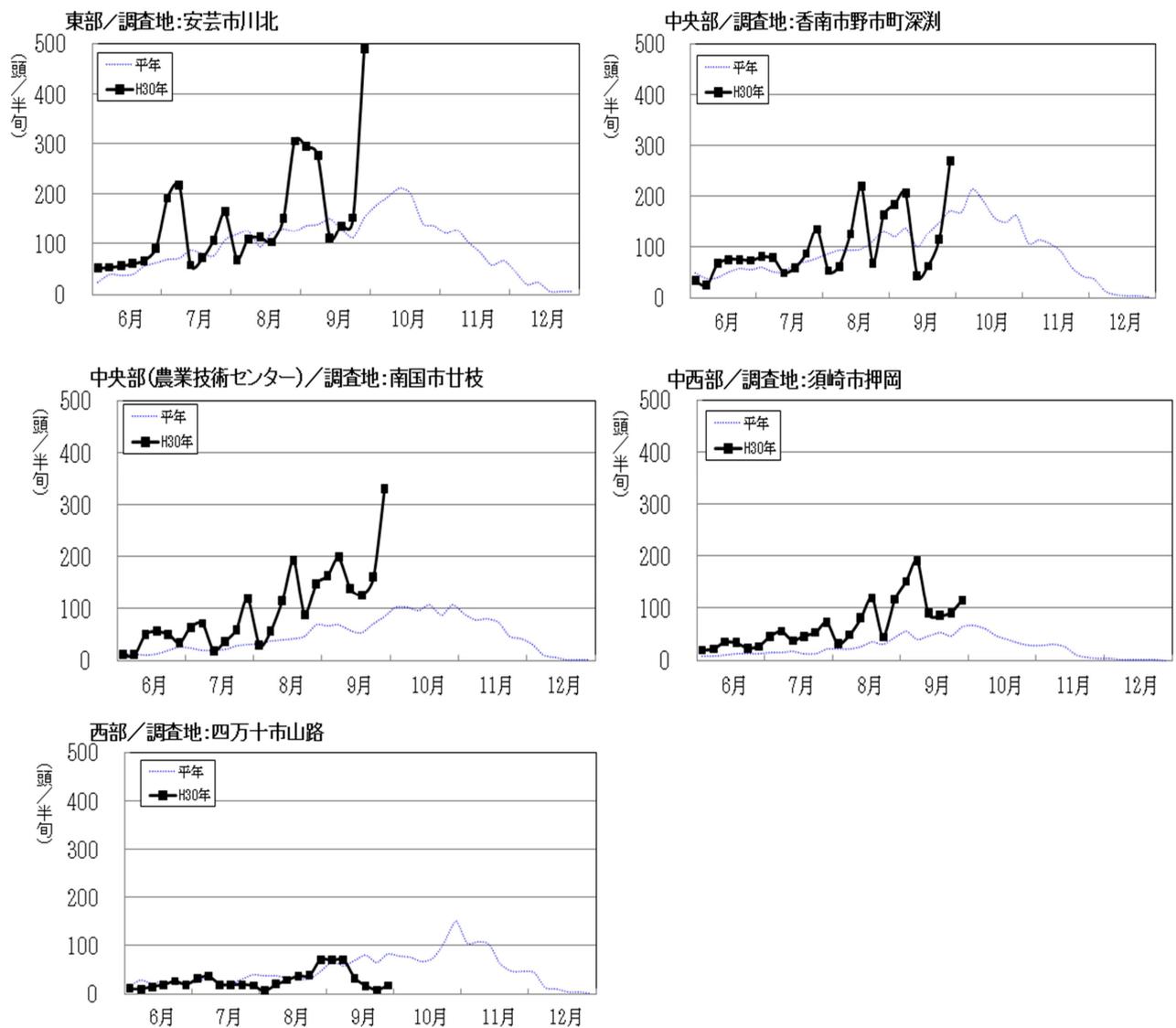


図1 各地区のフェロモントラップによるハスモンヨトウ誘殺数

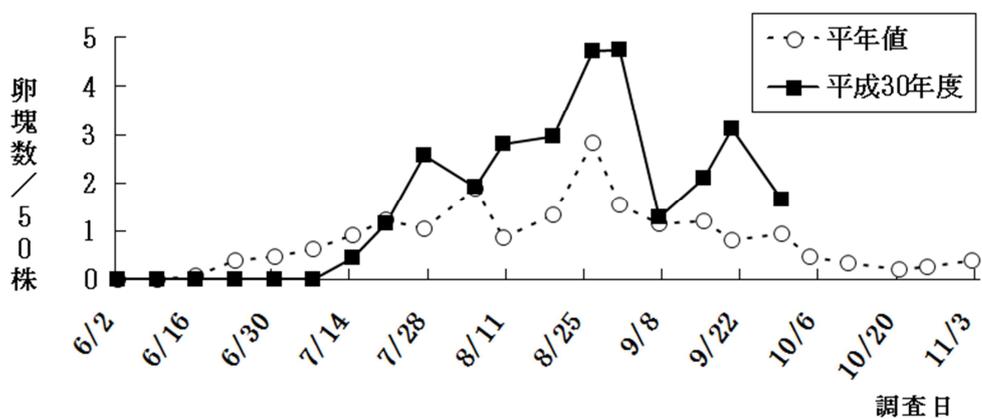


図2 サトイモにおけるハスモンヨトウ卵塊数の推移
(南国市、農業技術センター内)